

## 今年度の増子記念病院の診療方針と新任医師紹介

理事長・院長 両角 國男

昨年春に神経内科と総合診療科を立ち上げMRI診断装置を、さらに神経生理検査も導入しました。秋には整形外科外来を木曜日と土曜日に開き、手の外科など専門性が高い手術も行われるようになりました。病院を利用する患者さんの多くは、内科疾患に加え腰痛や足のしびれなど整形外科疾患、神経内科疾患を合併しています。この領域への診療拡大は皆さんのお役にたっていると感じています。また、腎臓病と肝臓病を中心とした専門病院と認識されてきた増子記念病院は新診療科開設により総合病院ではないけれど増子記念病院を受診される皆さんの要望に応えられるよう診療幅が広くなり、近隣にお住いの多くの患者さんのお役にたてる診療整備が進みました。



今年4月から、腎臓病医療センターでは、すべての腎臓病治療ができる体制をさらに強化しました。日本で最多の腎移植を実施している名古屋第二赤十字病院チームと協力し、休止していた腎移植手術を再開し、6月までに2例を行いました。腎移植後の外来診療体制もトップレベルです。また、名古屋市内では増子記念病院でしかできない深夜血液透析患者さんも40名以上となりました。仕事や学業を十分にできる血液透析として喜ばれています。腎臓病を悪化させない診断と治療は外来診療と入院との連携も円滑となりより効果が期待されます。腎臓病の専門知識豊富なスタッフによる腎臓病悪化予防・合併症対策の強化が図られ、循環器内科や心エコー検査の充実などにより合併症の早期診断治療体制が一段と整備されています。一方、肝・消化器内科のカプセル内視鏡による小腸・大腸疾患の診断実績は抜kindでた実績を残しています。

増子記念病院の常勤医師団の特徴は、各医師の専門とする領域で学会専門医、指導医を取得した非常にレベルの高い能力を有することですが、さらに強力な医師が加わりました。腎臓内科に着任の美浦先生は、腎臓内科専門医・指導医、透析医学会専門医、リウマチ学会専門医、総合内科専門医で腎臓内科、膠原病、内科全般に高い能力を有しています。透析外科の水川先生は、外科専門医で消化器外科医としても豊富な実績に加え、透析用シャント手術、PTAの専門医として豊富な実績を有し、血液透析に関しても前任地で学んできています。

優れた診療を提供するには優れた医師が不可欠ですが、十分ではありません。現在の診療の基本はチーム医療です。増子記念病院ではどの病院でもチーム医療の重要性を認識していなかった45年以上前からチーム医療が行われてきました。増子記念病院を受診して良かったと皆様に実感していただける診療を目指しますが、チーム医療のメンバーには患者さんやそのご家族も加わっています。今の時代に望まれる良質な医療をよりレベルの高いチーム医療として提供するために今後も最大の努力をしていきます。

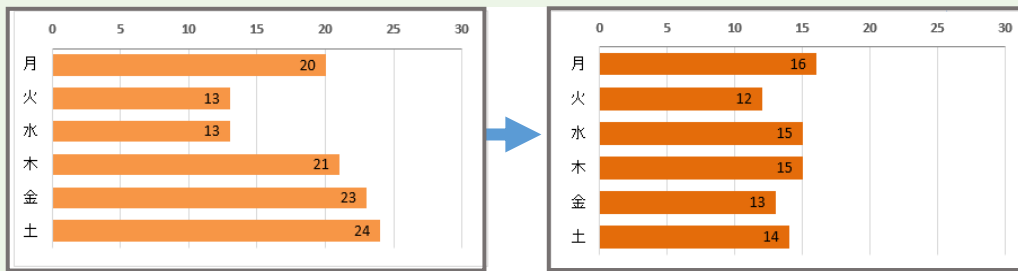
## ● 電子カルテの導入による、待ち時間の短縮について

平成28年7月に電子カルテが導入され、従来より早く会計処理を行う事ができるようになりました。

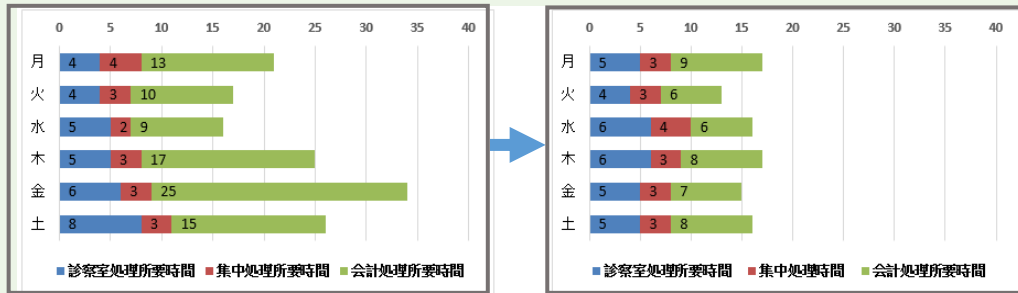
その結果、外来診察後から会計で呼ばれるまでの会計待ち時間について、大幅に短縮されています。

下のグラフは、電子カルテ導入前（左:平成27年）と電子カルテ導入後（右:平成29年）を比較したのになります。

### <会計待ち時間> 電子カルテ導入前（H27） → 電子カルテ導入後（H29）



### <職員行動別 所要時間> 電子カルテ導入前（H27） → 電子カルテ導入後（H29）



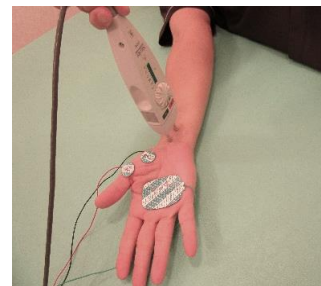
## ● 新しい検査のご紹介 ～筋電図検査とは？～

当院では、神経内科の新規開設に伴い、昨年秋より新たに筋電図検査を始めました。

筋電図検査は、手や足のしびれや、力が入らないといった症状がある際に、その原因を探るための検査方法の一つです。

検査では、手や足を電気で刺激する方法、または筋肉に針の電極を刺す方法で、その反応をみます。

その結果を基に神経疾患や筋疾患などの病気を診断し、治療を行います。



平成29年10月にオープンした筋電図検査室の様子

### ◆ 筋電図検査には、2種類の検査があります

#### 神経伝道速度検査

1つは、筋肉が興奮する時の電気が伝わる速度を測定し、末梢神経に問題があるのかどうかを調べる「**神経伝道速度検査**」です。

ベッドに横になってもらった状態で、手や足を電気で刺激して行います。

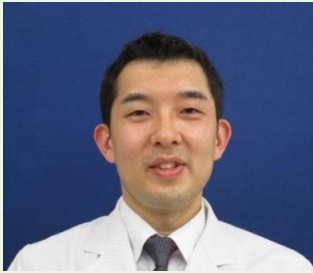
#### 針筋電図検査

もう1つは、筋肉が興奮するときの筋の電氣的活動を調べることにより、動けと命令する神経に問題があるのか、命令に従う筋肉に問題があるのかを調べる「**針筋電図検査**」です。

ベッドに横になってもらった状態で、筋肉に針を刺して、力を入れていただいたり、抜いていただいたりして、筋肉の活動を調べます。

## ● 新任医師をご紹介します！

今年の4月から、新しく増子記念病院に赴任しました、腎臓内科の美浦利幸（みうらとしゆき）先生、透析外科の水川卓丈（みずかわたかひろ）先生の2名の医師をご紹介します。



腎臓内科 美浦 利幸

4月に刈谷豊田総合病院より赴任いたしました美浦利幸と申します。腎臓・透析専門医として、皆様によりよい腎不全保存期・透析ライフを過ごせるような医療を提供できるよう努力していきます。趣味は、歴史探求です。西郷どんの「耐雪梅花麗」（梅の花は冬の雪や厳しい寒さを耐え忍ぶからこそ、初春に美しい花を咲かせ、かぐわしい香りを発する）の精神を胸に日々の臨床に励んでいきたいと思えます。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願申し上げます。

4月より赴任いたしました水川卓丈と申します。名古屋掖済会病院、稲沢市民病院で消化器外科として勤務し、その後名古屋第二赤十字病院にてシャントを含めた透析関連に携わってきました。透析患者さんにとってシャントは予後やQOLなどに関連する大切な要素と考えております。患者さん一人一人多種多様ですので、一人一人大切にすることをモットーに診療に努めて参ります。よろしく願いたします。



透析外科 水川 卓丈

「ますこ・すばる新聞 平成30年 初夏号」 発行元：増子記念病院 広報委員会（平成30年6月）

医療法人 衆済会 増子記念病院  
〒453-8566  
名古屋市中村区竹橋町35番28号  
TEL: (052) 451-1307 / FAX: (052) 451-1324  
公式HP: <http://www.syusaikai.com/>

増子クリニック 昴  
〒453-0856  
名古屋市中村区並木1丁目322番地  
TEL: (052) 412-8211 / FAX: (052) 414-2962  
公式HP: <http://www.hd-subaru.jp/>